

浜の活力再生プラン (第2期)

1 地域水産業再生委員会 (ID: 1130003)

組織名	香川県地域水産業再生委員会 中讃地区部会
代表者名	部会長 志摩重美

再生委員会の 構成員	松山漁業協同組合、坂出市漁業協同組合、与島漁業協同組合、宇多津漁業協同組合、丸亀市漁業協同組合、本島漁業協同組合、多度津町漁業協同組合、白方漁業協同組合、多度津町高見漁業協同組合 坂出市、宇多津町、丸亀市、多度津町 香川県、香川県漁業協同組合連合会
オブザーバー	

対象となる地域の 範囲及び漁業の種類	<p>[範囲] 香川県中部地域（坂出市、宇多津町、丸亀市、多度津町）</p> <p>[漁業の種類] 魚類養殖業（12経営体）、ノリ養殖業（7経営体）、カキ養殖業（14経営体）、小型機船底びき網漁業（175経営体）、敷網漁業（48経営体）、さわら流しさし網漁業（92経営体）、たこつぼなわ漁業（73経営体） 計421経営体</p>
-----------------------	--

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

中讃地域は備讃瀬戸に位置し、島々と狭隘な瀬戸部からなっていることから、潮流は速く、上下混合が起きやすく成層が形成されない水域である。底質は砂泥質の所が多く、かつては瀬戸内海有数の広大な藻場を擁する海域であった。

漁業種類については、小型機船底びき網、敷網、さし網などの漁業が主要な漁業として営まれているほか、一部の地域では、ノリ養殖業やカキ養殖業が営まれている。

[漁船漁業]

当地域は、本島、与島など島嶼部に基盤を持つ漁業者が多く、漁船漁業を営む経営体の多い地域である。そのため、近年の漁業コストの上昇、魚価の低迷により漁業で生計を立てるのは難しい状況であり、漁業経営体数は減少の一途をたどっている。

また、大半の漁業者は資源管理には取り組んでいるものの、積立ぶらすなどの漁業収入安定対策事業を活用している者が少なく、漁業収入は不安定な状況にある。

[養殖業]

ノリ養殖については、かつては香川県全体の生産額が 111 億円に達したこともあり、本県は国内でも有数なノリ生産地であったが、生産過剰により価格が急落し、経営体数は急激に減少した。中讃地区も例外ではなく、経営体の減少は進んでいる。それに加え、近年の海水温の上昇による漁期の短縮化、冬季の栄養塩レベルの低下、漁業コストの向上により、ノリ

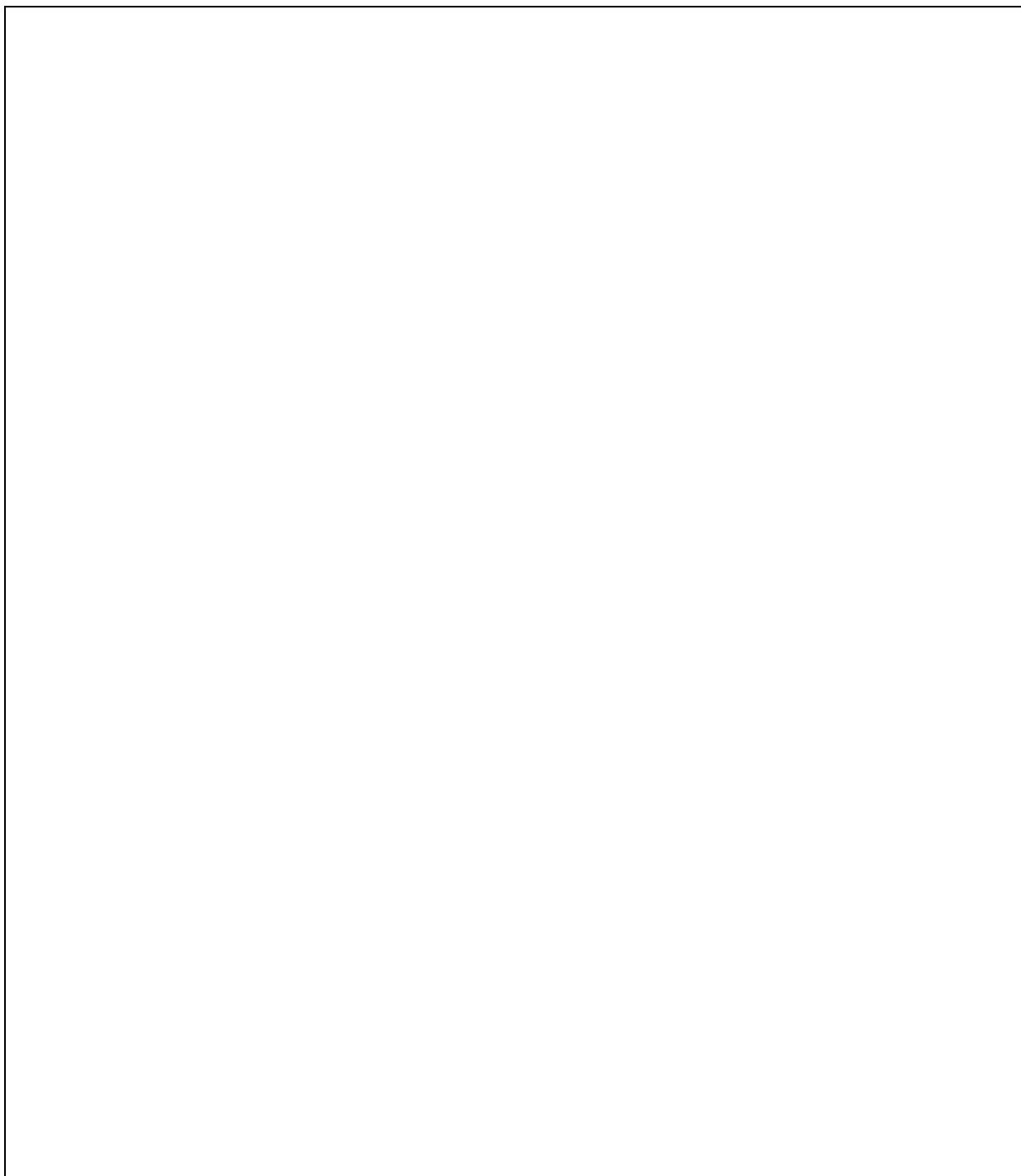
養殖業の経営は非常に厳しい状況となっている。

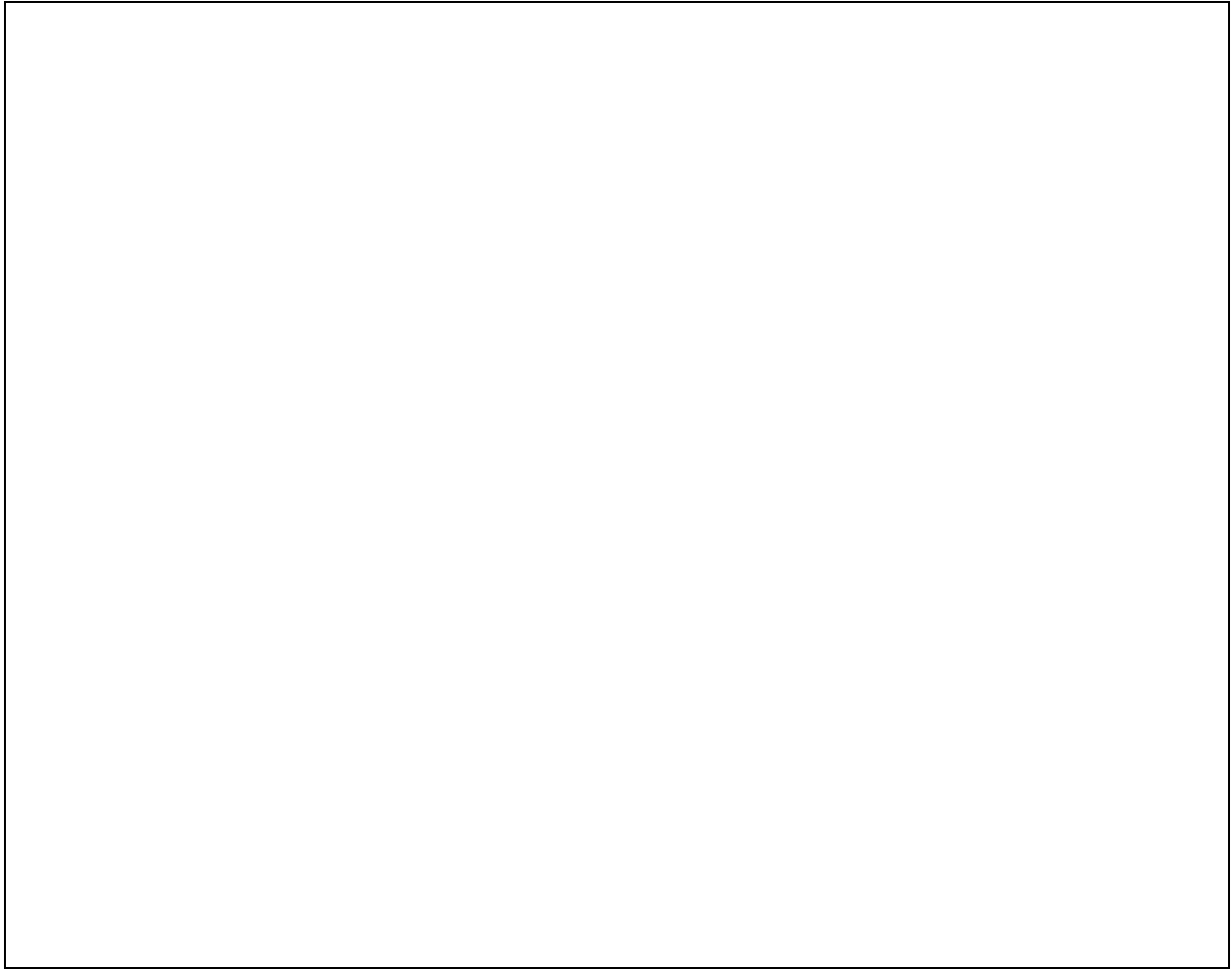
(2) その他の関連する現状等

・2013年10月に坂出水産地方卸売市場と丸亀魚市場が統合し、『海の幸ふれあい市場』が誕生し、市場として機能するだけでなく、水揚げされたばかりの新鮮な海鮮が食べられる食堂や鮮魚店を併設し、休日には体験型のイベントが開催されるなど、観光スポットとしても注目されている。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等





(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

○漁業収入の向上

第1期で取組効果があり、継続・拡大する取組

- ・瀬戸内国際芸術祭及び統合市場を活用した販売促進
- ・地区内漁業者が利用できる加工場等施設の整備
- ・養殖業の振興
- ・収入の安定化
- ・浜の多面的機能発揮

○漁業コスト削減

第1期で取組効果があり、継続・拡大する取組

- ・省燃油対策の継続

(3) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

香川県資源管理指針に沿って各漁業協同組合が定めた資源管理計画に基づき、漁獲努力量の削減に努めており、その履行については香川県資源管理協議会が確認を行っている。

(4) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1年目（平成31年度）

取組の内容は、取組の進捗状況や得られた成果等を踏まえ、必要に応じ見直すこととする。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。（基準年より0.6%増加）</p> <ul style="list-style-type: none">○瀬戸内国際芸術祭及び統合市場を活用した販売促進<ul style="list-style-type: none">・2016年に開催された瀬戸内国際芸術祭において、会場全体へは104万人、中讃の会場へは国内外から10万人を越える来場者があった。・2019年開催される「瀬戸内国際芸術祭」では、食材提供やメニュー開発等により、情報発信力の高いメディア関係者の協力を得ながら、県内水産物のPRを促進するとともに、地域内の全漁業者が市場関係者、観光協会等と連携して、『海の幸ふれあい市場』に修学旅行生や団体客を誘致するため、積極的な情報発信を行い、体験型のイベント等により、販売促進を図る。○加工場等施設の整備<ul style="list-style-type: none">・漁協は、地域内の全漁業者とともに、漁獲物の魚価向上を図るため、活魚出荷時期の調整する施設やフィレや切り身等に加工する施設等の整備を検討する。○養殖業の振興<ul style="list-style-type: none">・カキ養殖経営体は、既に商標登録を行っている白方カキについて、カキ祭り参加者などへの直接販売、インターネット販売等新しい販路を拡大し、収益力を向上させる。・ノリ養殖経営体は、コンビニエンスストアのおにぎり商材等における香川県産ノリの使用について、ノリ商社への販売促進を強化する。・事業化されたアオノリ養殖について、高品質化、効率化のための施設整備や漁場管理を実施し、更なる単価向上に取り組む。また、比較的設備投資が少なく新規での操業が容易なアオノリ養殖について、地区内の生産拡大のため、アオノリ養殖適地選定の試験の実施を検討する。・県内のノリ養殖経営体で組織する香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化を目指し、効果的な食害対策を検討し、試験を実施する。○収入の安定化<ul style="list-style-type: none">・漁協は、漁業共済、積立ぶらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。○浜の多面的機能発揮<ul style="list-style-type: none">・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理等を推進する。・漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや藻礁、魚礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資源管理の取り組みを実施する。○漁港機能強化等の施設整備<ul style="list-style-type: none">・地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業効率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。
---------------------	---

<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年より 0.2%削減)</p> <p>○省燃油対策の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業経営セーフティネット構築事業に参加する地区内の漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。 ・ 地区内の漁業者は、競争力の高い機器への換装を推進する。 ・ 漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業人材育成総合支援事業 [国] ・ 漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・ 水産多面的機能発揮対策事業 [国] ・ 浜の活力再生交付金 [国] ・ ノリ養殖等振興総合対策事業 [県] ・ 地域特産物開発支援事業 [県] ・ 香川県水産振興総合対策事業 [県]

2年目（平成32年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。(基準年より 1.2%増加)</p> <p>○瀬戸内国際芸術祭及び統合市場を活用した販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2010年から開始した「瀬戸内国際芸術祭」が10周年を迎えることから、情報発信力の高いメディア関係者の協力を得て、地域内の全漁業者が市場関係者、観光協会等と連携して、積極的な情報発信を行い、体験型のイベント等により、引き続き販売促進を図る。 <p>○加工場等施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漁協は、地域内の全漁業者とともに、漁獲物の魚価向上を図るため、活魚出荷時期の調整する施設やフィレや切り身等に加工する施設等の整備を検討する。 <p>○養殖業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カキ養殖経営体は、既に商標登録を行っている白方カキについて、カキ祭り参加者などへの直接販売、インターネット販売等新しい販路を拡大し、収益力を向上させる。 ・ ノリ養殖経営体は、コンビニエンスストアのおにぎり商材等における香川県産ノリの使用について、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・ 事業化されたアオノリ養殖について、高品質化、効率化のための施設整備や漁場管理を実施し、更なる単価向上に取り組む。また、比較的設備投資が少なく新規での操業が容易なアオノリ養殖について、県内の生産拡大のため、アオノリ養殖適地選定の試験を実施する。 ・ 香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化を目指し、効果的な食害対策を検討し、試験を実施する。 <p>○収入の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漁協は、漁業共済、積立ぶらすへの加入を促進し、自然災害や不漁な
----------------------------	---

	<p>どに起因した漁業収入の不安定に備える。</p> <p>○浜の多面的機能発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理等を推進する。 ・漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや藻礁、魚礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資源管理の取り組みを実施する。 <p>○漁港機能強化等の施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業効率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。
漁業コスト削減のための取組	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年より 0.4%削減)</p> <p>○省燃油対策の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年の結果を踏まえ、全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を継続的に削減する。 ・競争力の高い機器に換装した地区内の漁業者は競争力強化型機器による操業により、省力・省コストに取り組む。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業人材育成総合支援事業 [国] ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・水産多面的機能発揮対策事業 [国] ・浜の活力再生交付金 [国] ・ノリ養殖等振興総合対策事業 [県] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]

3年目（平成33年度）

漁業収入向上のための取組	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。(基準年より 1.8%増加)</p> <p>○瀬戸内国際芸術祭及び統合市場を活用した販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内の全漁業者が市場関係者、観光協会等と連携して、積極的な情報発信を行い、体験型のイベント等により、引き続き販売促進を図る。 ・「瀬戸内国際芸術祭」を契機に、国内外から訪れる多くの観光客を統合市場や漁村地域に呼び込むことにより、新鮮な地元水産物を認知度の向上を目指す。また、SNS等を活用しながら、瀬戸内海の魅力を継続的に国内外へ情報発信することにより、販路拡大を目指す。 <p>○加工場等施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、地域内の全漁業者とともに、漁獲物の魚価向上を図るため、活魚出荷時期の調整する施設やフィレや切り身等に加工する施設等の整備を検討する。 <p>○養殖業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カキ養殖経営体は、既に商標登録を行っている白方カキについて、カキ
--------------	--

	<p>祭り参加者などへの直接販売、インターネット販売等新しい販路を拡大し、収益力を向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノリ養殖経営体は、コンビニエンスストアのおにぎり商材等における香川県産ノリの使用について、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・事業化されたアオノリ養殖について、高品質化、効率化のための施設整備や漁場管理を実施し、更なる単価向上に取り組むとともに、東讃地区が共有するアオノリ種苗生産技術を参考に、当地区でのアオノリ種苗生産の実施を検討する。また、比較的設備投資が少なく新規での操業が容易なアオノリ養殖について、地区内の生産拡大のため、アオノリ養殖適地選定の試験を実施する。 ・香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化を目指し、効果的な食害対策を検討し、試験を実施する。また効果が示された食害対策について、県内のすべてのノリ養殖経営体と共有し、県内のクロノリ生産安定に努める。 <p>○収入の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ぶらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 <p>○浜の多面的機能発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理等を推進する。 ・漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや藻礁、魚礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資源管理の取り組みを実施する。 <p>○漁港機能強化等の施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業効率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年より 0.6%削減)</p> <p>○省燃油対策の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの結果を踏まえ、全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を継続的に削減する。 ・競争力の高い機器に換装した地区内の漁業者は競争力強化型機器による操業により、省力・省コストに取り組む。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業人材育成総合支援事業 [国] ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・水産多面的機能発揮対策事業 [国] ・浜の活力再生交付金 [国] ・ノリ養殖等振興総合対策事業 [県] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]

4年目（平成34年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。（基準年より 2.4%増加）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○瀬戸内国際芸術祭及び統合市場を活用した販売促進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域内の全漁業者が市場関係者、観光協会等と連携して、積極的な情報発信を行い、体験型のイベント等により、引き続き販売促進を図る。 ・「瀬戸内国際芸術祭」を契機に、国内外から訪れる多くの観光客を統合市場や漁村地域に呼び込むことにより、新鮮な地元水産物を認知度の向上を目指す。また、SNS等を活用しながら、瀬戸内海の魅力を継続的に国内外へ情報発信することにより、販路拡大を目指す。 ○加工場等施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、地域内の全漁業者とともに、漁獲物の魚価向上を図るため、活魚出荷時期の調整する施設やフィレや切り身等に加工する施設等の整備を検討する。 ○養殖業の振興 <ul style="list-style-type: none"> ・カキ養殖経営体は、既に商標登録を行っている白方カキについて、カキ祭り参加者などへの直接販売、インターネット販売等新しい販路を拡大し、収益力を向上させる。 ・ノリ養殖経営体は、コンビニエンスストアのおにぎり商材等における香川県産ノリの使用について、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・事業化されたアオノリ養殖について、高品質化、効率化のための施設整備や漁場管理を実施し、更なる単価向上に取り組むとともに、東讃地区が共有するアオノリ種苗生産技術を参考に、当地区でのアオノリ種苗生産を実施する。 ・香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化を目指し、効果的な食害対策を検討し、試験を実施する。また効果が示された食害対策について、県内のすべてのノリ養殖経営体と共有し、県内のクロノリ生産安定に努める。 ○収入の安定化 <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ぷらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 ○浜の多面的機能発揮 <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理等を推進する。 ・漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや藻礁、魚礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資源管理の取り組みを実施する。 ○漁港機能強化等の施設整備 <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業効率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。（基準年より 0.8%削減）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○省燃油対策の継続

	<ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を継続的に削減する。 ・競争力の高い機器に換装した地区内の漁業者は競争力強化型機器による操業により、省力・省コストに取り組む。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業人材育成総合支援事業 [国] ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・水産多面的機能発揮対策事業 [国] ・浜の活力再生交付金 [国] ・ノリ養殖等振興総合対策事業 [県] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]

5年目（平成35年度）

漁業収入向上のための取組	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。（基準年より3.0%増加）</p> <p>○瀬戸内国際芸術祭及び統合市場を活用した販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内の全漁業者が市場関係者、観光協会等と連携して、積極的な情報発信を行い、体験型のイベント等により、引き続き販売促進を図る。 ・「瀬戸内国際芸術祭」を契機に、国内外から訪れる多くの観光客を統合市場や漁村地域に呼び込むことにより、新鮮な地元水産物を認知度の向上を目指す。また、SNS等を活用しながら、瀬戸内海の魅力を継続的に国内外へ情報発信することにより、販路拡大を目指す。 <p>○加工場等施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、地域内の全漁業者とともに、漁獲物の魚価向上を図るため、活魚出荷時期の調整する施設やフィレや切り身等に加工する施設等の整備を検討する。 <p>○養殖業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カキ養殖経営体は、既に商標登録を行っている白方カキについて、カキ祭り参加者などへの直接販売、インターネット販売等新しい販路を拡大し、収益力を向上させる。 ・ノリ養殖経営体は、コンビニエンスストアのおにぎり商材等における香川県産ノリの使用について、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・事業化されたアオノリ養殖について、高品質化、効率化のための施設整備や漁場管理を実施し、更なる単価向上に取り組むとともに、東讃地区が共有するアオノリ種苗生産技術を参考に、当地区でのアオノリ種苗生産を実施する。 ・香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化を目指し、効果的な食害対策を検討し、試験を実施する。また効果が示された食害対策について、県内のすべてのノリ養殖経営体と共有し、県内のクロノリ生産安定に努める。 <p>○収入の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ふらすへの加入を促進し、自然災害や不漁な
--------------	--

	<p>どに起因した漁業収入の不安定に備える。</p> <p>○浜の多面的機能発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理等を推進する。 ・漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや藻礁、魚礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資源管理の取り組みを実施する。 <p>○漁港機能強化等の施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業効率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。
漁業コスト削減のための取組	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年より 1.0%削減)</p> <p>○省燃油対策の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を継続的に削減する。 ・競争力の高い機器に換装した地区内の漁業者は競争力強化型機器による操業により、省力・省コストに取り組む。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業人材育成総合支援事業 [国] ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・水産多面的機能発揮対策事業 [国] ・浜の活力再生交付金 [国] ・ノリ養殖等振興総合対策事業 [県] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]

(5) 関係機関との連携

<p>○香川県水産試験場との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産試験場が行う資源管理に関する調査の結果を基に、効率的な資源管理に努める。 ・当地域での水質等に適した養殖技術について研究を共同で行う。 <p>○他地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他地域の漁協等とも連携し、運送の共同運行などにより流通コストの削減を目指す。
--

4 目標

(1) 所得目標

漁業所得の向上 10%以上	基準年	平成 25～29 年の 5 中 3 平均：漁業所得	千円
	目標年	平成 35 年度：漁業所得	千円

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

- 基準年については、香川農林水産統計年報で示されている漁船漁業、小型定置網漁業、海面養殖業（ぶり、のり、かき）の漁労所得に各年時点の各経営体数を乗じて得た総所得を基に、算出した 1 期目プランの基準年および各取組年の漁業所得の 5 中 3 平均で算出した。
- 目標年の漁業所得については、浜の活力再生プランの 5 年間の取組み実施し、次のとおり収入を 3.0%向上させ、コストを 1.0%削減することにより、基準年と比較し 10.2%の所得向上を達成する。

基準年からの所得向上割合 (単位：%)

	収入向上	コスト削減	所得向上
1 年目 (31 年度)	0.6	0.2	2.2
2 年目 (32 年度)	1.2	0.4	4.4
3 年目 (33 年度)	1.8	0.6	6.5
4 年目 (34 年度)	2.4	0.8	8.7
5 年目 (35 年度)	3.0	1.0	10.9

(3) 所得目標以外の成果目標

1 組合員当たり販売・購買事業 取扱高の 3%以上の向上	基準年	平成 25～29 年度 5 ケ年平均	千円
	目標年	平成 31～35 年度 5 ケ年平均	千円

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

- 基準年の算出方法は、地区内漁業協同組合業務報告書（平成 25 年～29 年）で示されている販売事業取扱高と購買事業供給高の合計額を地区内組合員数で除した、過去 5 年間における 1 組合員当たりの販売・購買事業取扱高平均値（千円）とした。
- 目標年の設定は、浜の活力再生プランの取組みを実施することにより、下記のとおり、地区内 1 組合員当たりの販売・購買事業取扱高の年間向上率 1%を設定し、プラン期間内平均値を基準より 3%向上させ、弱体化する漁協組織基盤を改善する。

基準年：H25～29 年度地区内 1 組合員当たりの販売・購買事業取扱高平均値（千円）

1 組合員当たり販売・購買事業取扱高、向上割合

	取扱高	対基準年向上率 (%)
1 年目 (31 年度)		1.0
2 年目 (32 年度)		2.0
3 年目 (33 年度)		3.0
4 年目 (34 年度)		4.0
5 年目 (35 年度)		5.0

5カ年平均

3.0

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
・漁業人材育成総合支援事業[国]	意欲のある新規漁業就業者の安定的な確保・定着を図るため、漁業の将来を担う人材を育成支援し、浜の活力再生プランで目指す漁村地域の活性化に寄与する。
・漁業経営セーフティネット構築事業 [国]	燃油経費への負担を軽減し、漁業コストを削減することにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。
・水産多面的機能発揮対策事業 [国]	沿岸域の環境美化、藻場・干潟の保全、海難救助など、浜の持つ多面的機能を発揮する活動を実施することにより、浜の活力再生プランで目指す漁村地域の活性化に寄与する。
・浜の活力再生交付金（水産関係地方公共団体交付金等実施要領に係るもの）[国]	水産資源の持続的な利用・管理の推進、水産業経営の強化及び漁港機能の強化等を図ることにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。
・香川県水産振興総合対策事業 [県]	水産物の販売促進、食育活動等に取り組むことにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。
・ノリ養殖等振興総合対策事業 [県]	ノリの色落ち・食害対策等による生産安定化や新たな藻類養殖の普及に取り組むことより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。
・地域特産物開発支援事業 [県]	地域特産物開発支援・特産水産物開発研究を進めることにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。